

日本語中級2(総合C)

必修(1単位) 月2限 教員氏名:伊藤 みちる

開講年度・学期 2023年度後期

【授業種別】 講義

【授業概要・ねらい】

日本語中級後期レベルの学生が対象です。今まで学んできた日本語を総合的に使用し、日本に関する様々なテーマに関する講義を行います。様々な生教材に触れることで、「教科書の日本語」だけでなく、日本語中級後期レベルの「敬語」「文法」「語彙」「言葉の意味」「表記」「漢字」を総合的に、生きた日本語として自然に使えるようにバランス良く定着させることを目的としています。

【到達目標】 この授業では、基礎語彙8000語、基礎漢字1500～1800字程度を用い、目的や場に応じた適切な語句・漢字や慣用表現を用いた文章表現や、日常生活で使われる表現に慣れ、実際に使えるようになります。自分の考えや疑問を漢字と仮名で適切な表記ができるよう練習し、的確に自然に発話して自信を持って議論を展開できるようになります。

【授業計画】 様々な状況により変更する場合がありますが、現時点の予定は以下のとおりです。

第1回	ガイダンス
第2回	聞き取りと時事問題① 書く・読む・話す・聞く技術:日本の災害とその対策(1)
第3回	聞き取りと時事問題② 書く・読む・話す・聞く技術:日本の災害とその対策(2)
第4回	聞き取りと時事問題③ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の風呂文化
第5回	聞き取りと時事問題④ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の子ども(1)
第6回	聞き取りと時事問題⑤ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の子ども(2)
第7回	聞き取りと時事問題⑥ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の学校 ① レポート
第8回	聞き取りと時事問題⑦ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の死生観と葬儀
第9回	聞き取りと時事問題⑧ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の食文化
第10回	聞き取りと時事問題⑨ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の宗教
第11回	聞き取りと時事問題⑩ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の寺社と験担ぎ
第12回	聞き取りと時事問題⑪ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の社会(1)
第13回	聞き取りと時事問題⑫ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の社会(2)
第14回	聞き取りと時事問題⑬ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の言葉(1) 学期末レポート
第15回	聞き取りと時事問題⑭ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の言葉(2)

【評価基準】 授業出席8割以上を評価対象とします。授業出席8割未満はE(出席不足)です。

評価割合は、レポート50%、学期末レポート50%です。

S(100～90点)A(89～80点)B(79～70点)C(69～60点)D(59点以下は不合格)

【教材】 初回授業で指示します。

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計3回すると1回分の欠席になります。30分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・ この授業は月曜日3時限「日本語中級1(総合D)」と連続しています。この授業を履修する学生は「日本語中級1(総合D)」の履修も必須です。
- ・ 「日本語中級1(総合C)」と「日本語中級1(総合D)」をあわせて交通費と入場料など合計約14,000円が必要です。

日本語中級2(総合D)

必修(1単位) 月3限 教員氏名:伊藤 みちる

開講年度・学期 2023年度後期

【授業種別】 講義

【授業概要・ねらい】

日本語中級後期レベルの学生が対象です。今まで学んできた日本語を総合的に使用し、日本に関する様々なテーマに関する講義を行います。様々な生教材に触れることで、「教科書の日本語」だけでなく、日本語中級後期レベルの「敬語」「文法」「語彙」「言葉の意味」「表記」「漢字」を総合的に、生きた日本語として自然に使えるようにバランス良く定着させることを目的としています。

【到達目標】 この授業では、基礎語彙8000語、基礎漢字1500～1800字程度を用い、目的や場に応じた適切な語句・漢字や慣用表現を用いた文章表現や、日常生活で使われる表現に慣れ、実際に使えるようになります。自分の考えや疑問を漢字と仮名で適切な表記ができるよう練習し、的確に自然に発話して自信を持って議論を展開できるようになります。

【授業計画】 様々な状況により変更する場合がありますが、現時点の予定は以下のとおりです。

第1回	ガイダンス
第2回	聞き取りと時事問題① 書く・読む・話す・聞く技術:日本の災害とその対策(1)
第3回	聞き取りと時事問題② 書く・読む・話す・聞く技術:日本の災害とその対策(2)
第4回	聞き取りと時事問題③ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の風呂文化
第5回	聞き取りと時事問題④ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の子ども(1)
第6回	聞き取りと時事問題⑤ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の子ども(2)
第7回	聞き取りと時事問題⑥ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の学校
第8回	聞き取りと時事問題⑦ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の死生観と葬儀 プレゼンテーション①
第9回	聞き取りと時事問題⑧ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の食文化
第10回	聞き取りと時事問題⑨ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の宗教
第11回	聞き取りと時事問題⑩ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の寺社と験担ぎ
第12回	聞き取りと時事問題⑪ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の社会(1)
第13回	聞き取りと時事問題⑫ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の社会(2)
第14回	聞き取りと時事問題⑬ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の言葉(1) プレゼンテーション②
第15回	聞き取りと時事問題⑭ 書く・読む・話す・聞く技術:日本の言葉(2)

【評価基準】 授業出席8割以上を評価対象とします。授業出席8割未満はE(出席不足)です。

評価割合は、プレゼンテーション①30%、プレゼンテーション②70%です。

S(100～90点)A(89～80点)B(79～70点)C(69～60点)D(59点以下は不合格)

【教材】 初回授業で指示します。

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計3回すると1回分の欠席、30分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・ この授業は、月曜日2時限「日本語中級1(総合C)」と連続しています。この授業を履修する学生は、「日本語中級1(総合C)」の履修も必須です。
- ・ この授業では「日本語中級1(総合C)」で学んだテーマに関連した校外学習を行います。そのため「日本語中級1(総合C)」を欠席した学生は同日の「日本語中級1(総合D)」の校外学習には参加できません。
- ・ 「日本語中級1(総合C)」と「日本語中級1(総合D)」をあわせて交通費と入場料など合計約14,000円が必要です。

日本語中級2(読解)

必修(2単位) 金2限 教員氏名:福永 裕美

開講年度・学期 2023 年度後期

【授業種別】講義

【授業概要・ねらい】

日本語中級後期レベル以上の学生が対象です。今までに身につけた基礎を生かし、新たに学ぶ語彙を加えながら、日本や日本人について書かれた文章を読み進め、「読解能力」と共に「語彙」「文型・表現」についても学びます。書かれていることを理解しながらまとめたり、意見を述べたりする能力も定着させることを目的としています。

【到達目標】 この授業ではさまざまな語彙、文型・表現を含んだ文章を読み、読解能力の向上はもちろんのこと、授業内で内容質問を行いながら、正確にテンポ良く文章を読み進めるための能力を高めることを目標としています。また、日本の文化、日本人の考え方や価値観についても理解することができるようになることも目指しています。

【授業内容】

第1回	ガイダンス、レベルチェックテスト、16課 地理
第2回	17課 家族/家庭生活
第3回	18課 情報化社会
第4回	19課 日本の文化
第5回	20課 医療 ☆小テスト
第6回	21課 犯罪
第7回	22課 科学技術
第8回	23課 文学/芸術
第9回	24課 法律
第10回	25課 人間関係 ☆小テスト
第11回	26課 政治
第12回	27課 心の豊かさ
第13回	28課 生命倫理
第14回	29課 経済
第15回	30課 国際化/多文化社会 ☆期末試験

【評価基準】 授業出席 8割以上を評価対象とします。授業出席 8割未満はE(出席不足)です。

評価割合は、授業内の課題 40%、小テスト 20%、期末試験 40%ずつです。

S(100~90点)A(89~80点)B(79~70点)C(69~60点)D(59点以下は不合格)

【教材】「学ぼう! にほんご 上級」 専門教育出版

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計3回すると1回分の欠席になります。30分以上の遅刻と早退は欠席とします。

日本語中級2(聴解)

必修(2単位) 火2限 教員氏名:森田 恵美

開講年度・学期 2023 年度後期

【授業種別】 講義

【授業概要・ねらい】

日本語中級前期レベルまでの文法・語彙の復習後、さまざまな日本語学習教材や音声・映像教材を通じて自然なスピードと言い回しに慣れ、的確に必要な情報を「聞く」技能を伸ばすことを目指します。

【到達目標】 日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解し、要旨が把握できるようになります。「聞く」ことで得た情報をまとめ、意見を述べるなど「書く」「話す」能力も向上させます。

【授業計画】 様々な状況により変更する場合がありますが、現時点の予定は以下のとおりです。

第1回	ガイダンス レベルチェック	
第2回	日本語なりきりリスニング①ユニット3「バイト体験」	
第3回	アカデミック・ジャパニーズ①第3課「暗闇イベント」	
第4回	日本語なりきりリスニング②ユニット4「結婚のお祝い」	
第5回	アカデミック・ジャパニーズ②第10課「人はなぜ化粧をするのか」 ト①	小テスト①
第6回	日本語なりきりリスニング③ユニット6「旅する楽しみ」	
第7回	アカデミック・ジャパニーズ③第13課「子どもの顔」	
第8回	日本語なりきりリスニング④ユニット9「笑う楽しみ」	小テスト②
第9回	日本語なりきりリスニング⑥ユニット10「落語家にインタビュー」	
第10回	アカデミック・ジャパニーズ④第15課「丁寧語」	
第11回	ニュースの日本語①「経済・金融」、生教材	小テスト③
第12回	ニュースの日本語②「政治・行政」、生教材	
第13回	ニュースの日本語③「社会・生活」、生教材	
第14回	生教材	
第15回	期末試験	

【評価基準】 授業出席 8割以上を評価対象とします。授業出席 8割未満は E(出席不足)です。
評価割合は、宿題 40%(提出物を含みます)、小テスト 20%、試験 40%とします。
S(100~90点) A(89~80点) B(79~70点) C(69~60点) D(59点以下は不合格)

【教材】 ・「生きた会話を学ぶ 中級から上級へのなりきりリスニング」 ジャパン・タイムズ
・「留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解」 東京外国語大学日本語教育センター編
著 スリーエーネットワーク
・「ニュースの日本語 聴解 50<<中級後半~上級レベル>>」 瀬川由美他 スリーエーネットワーク
・生教材(昔話法廷など)
※テキストを購入する必要がある場合は、授業開始後に指示します。

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計 3 回すると 1 回分の欠席になります。30 分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・ 授業時間外でも積極的に日常生活の中で日本語を聞く・話すことを心がけましょう。学内の一般学生との交流を通じ、生きた日本語に触れるよう努めましょう。

日本語中級2(文章表現)

必修(2単位) 金3限 教員氏名:福永 裕美

開講年度・学期 2023 年度後期

【授業種別】講義

【授業概要・ねらい】

日本語中級後期レベルの学生が対象です。論文やレポートをはじめ日常生活に必要な書類など場面に合わせ、自然な日本語、分かりやすい日本語で書くことができるようになることを目的としています。紹介文、意見文、実践としてレポートの書き方を学び、より適切な表現方法を身につけることができますよう学びます。

【到達目標】 この授業では留学生の論文、レポートなどに見られる不自然な表現や、分かりにくい表現をなくし、読み手がスムーズに文章を読み進めることができるよう、文章を書く際にチェックするポイントや見直す項目を細かく学び、15回の授業で文章表現の基礎を作り、より高い文章力を手に入れます。

【授業内容】

第1回	ガイダンス レベルチェック 第一部 ことばのドリル Part1~3
第2回	ことばのドリル Part4~6 原稿用紙の使い方
第3回	ことばのドリル7~9 第二部 紹介文1 私の好きなもの(こと)
第4回	私の好きなもの(こと)提出、セルフチェック 紹介文2 私の故郷
第5回	私の故郷提出、セルフチェック 賛成・反対の意見文 身近な問題
第6回	賛成・反対の意見文 身近な問題
第7回	賛成・反対の意見文 社会的な問題
第8回	賛成・反対の意見文 社会的な問題 発表 自分をアピールする文を書く
第9回	活動: 自己をアピールする文を書く
第10回	活動: 自己をアピールする文の発表、履歴書を書く
第11回	before /after の文章 計画図の記入
第12回	before /after の文章 構成を考えて書く
第13回	before /after の文章 発表 敬語のドリル
第14回	最終課題 レポートを書く 説明
第15回	レポートの提出 発表

【評価基準】 授業出席 8割以上を評価対象とします。授業出席 8割未満はE(出席不足)です。
評価割合は、授業内課題 50% 提出物(レポート①、レポート②)それぞれ 25%
S(100~90点)A(89~80点)B(79~70点)C(69~60点)D(59点以下は不合格)

【教材】「大学生のための文章表現練習帳 第2版」坂東実子著 国書刊行会

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計3回すると1回分の欠席になります。30分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・ レポートや課題については第1回授業ガイダンスで詳しく説明します。

日本語中級 2（口頭表現）

必修（2 単位） 木 2 限 教員氏名：森田 恵美

開講年度・学期 2023 年度後期

【授業種別】 講義

【授業概要・ねらい】

日本語中級後期レベルの学生を対象とします。この授業では、日常生活における様々な場面や状況を想定し、日本語によるコミュニケーションを行います。相手との関係を考えながら、自分の伝えたいことを適切に表現し、相手が言いたいことを理解できるように、クラス内でやりとりをする機会を多くとります。またクラスで、身近なトピックについて自分の経験や意見を発表していきます。

【到達目標】 この授業では日本語中級から上級の語彙・文法を理解し、会話や発表をする際に使いこなせるようになることを目標とします。最終的にはスピーチ、またはプレゼンテーションにて、説得力のある発表ができるようになることを目指します。

【授業計画】 様々な状況により変更する場合がありますが、現時点の予定は以下のとおりです。

第 1 回	ガイダンス、レベルチェック(他己紹介・インタビュー)、1 分間スピーチ導入・発表
第 2 回	1 分間スピーチ、「私のおすすめの本」発表準備・発表
第 3 回	1 分間スピーチ、「私の折々の言葉」を考える(『天声人語』を参照し、発表準備)
第 4 回	1 分間スピーチ、「私の折々の言葉」発表、新聞記事を読み解く①記事選択・読解
第 5 回	1 分間スピーチ、新聞記事を読み解く②発表準備
第 6 回	1 分間スピーチ、新聞記事を読み解く③発表・ディスカッション
第 7 回	1 分間スピーチ、「好きなシーンを紹介しよう」①導入・発表準備
第 8 回	1 分間スピーチ、「好きなシーンを紹介しよう」②発表
第 9 回	1 分間スピーチ、「ステレオタイプを打ち破ろう」①
第 10 回	1 分間スピーチ、最終発表に向けて①導入、「ステレオタイプを打ち破ろう」②
第 11 回	1 分間スピーチ、最終発表に向けて②発表準備、「働くことの意義について討論しよう」①
第 12 回	1 分間スピーチ、最終発表に向けて③原稿完成、「働くことの意義について討論しよう」②
第 13 回	1 分間スピーチ、最終発表に向けて④練習、ディスカッション
第 14 回	1 分間スピーチ、最終発表に向けて⑤練習、ディスカッション
第 15 回	最終発表

【評価基準】 授業出席 8 割以上を評価対象とします。授業出席 8 割未満は E(出席不足)です。

評価割合は、平常点(参加態度)20%、提出物(1 分間スピーチフィードバック・発表原稿)5%、1 分間スピーチ 20%、ミニ発表(4 回)20%、最終発表 20%とします。

S (100~90 点) A (89~80 点) B (79~70 点) C (69~60 点) D (59 点以下は不合格)

【教材】 特になし。必要に応じて授業時にプリントを配布します。

【その他】

- 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- 遅刻と早退を計 3 回すると 1 回分の欠席になります。30 分以上の遅刻と早退は欠席とします。

日本語中級2(能力試験対策)

必修(2単位) 月1限 教員氏名:伊藤 みちる

開講年度・学期 2023年度後期

【授業種別】 講義

【授業概要・ねらい】

日本語能力試験のN2レベルの「文法」「文字・語彙」を確認復習し、日本語能力試験N1合格に必要な「文法」「文字・語彙」「読解」「聴解」について学習し、多くの練習問題を行います。各自の弱点に合わせ、より高得点にて合格を目指せるように、問題を厳選し、練習を行うことにより、正しい解答を短時間で選ぶことを目指します。

【到達目標】 「文法」「文字・語彙」「読解」「聴解」について万遍なく学習し、より高得点での合格ができることを目指します。また日本語能力試験N1レベルの文法・語彙を定着させ、難易度の高い長文を読み、高度なレベルの聴き取り、文法を使っての作文ができるようになります。

【授業内容】

第1回	ガイダンス レベル確認 N2復習プリント
第2回	小テスト① 総合模試①
第3回	小テスト② 総合模試問題解説
第4回	小テスト③ 読解問題を解く
第5回	小テスト④ 聴解問題・文法問題を解く
第6回	小テスト⑤ 総合模試②
第7回	小テスト⑥ 総合模試問題解説
第8回	小テスト⑦ 文字・語彙問題を解く
第9回	小テスト⑧ 聴解問題・文法問題を解く
第10回	小テスト⑨ 総合模試③
第11回	小テスト⑩ 総合模試問題解説
第12回	日本語能力試験(JLPT)振り返り
第13回	読解問題を解く
第14回	文字・語彙問題を解く
第15回	総まとめ 学期末テスト

【評価基準】 授業出席8割以上を評価対象とします。授業出席8割未満はE(出席不足)です。評価割合は、小テスト全10回:50%、学期末テスト:50%です。

S(100~90点)A(89~80点)B(79~70点)C(69~60点)D(59点以下は不合格)

【教材】 『日本語総まとめ N1 語彙』アスク出版

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計3回すると1回分の欠席になります。30分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・ 小テストを10回行います。小テスト、学期末テストについては第1回ガイダンスで説明します。
- ・ 教材については、各自のレベルや弱点を見た上で、追加することがあります。
- ・ 授業内容についても、各自のレベルや強化する点を考え、多少変更することがあります。

日本国家概況

選択(2単位) 火1時限 教員氏名:趙 方任

開講年度・学期 2023年度後期

【授業種別】 講義

【授業概要・ねらい】

日本という国の基本データ、特徴、世界の中の地位と評価を紹介する。日本の概況を紹介した後、留学生に日本と比較しながら自国の状況を紹介してもらいます。授業中、各種の映像や写真を多用します。

【到達目標】比較の目線を育て、日本、中国文化の基礎及び日中韓三ヵ国文化の相違をマスターします。

【授業内容】日本国の世界遺産、社会構造、政治体制、庶民生活、文化現象、物産、祭り、観光名所、生活習慣と忌諱などを主な内容とします。

第1回	世界の人々が見る日本
第2回	日本の喫茶文化
第3回	日本の茶道
第4回	相撲
第5回	神道と神社
第6回	日本のお寺
第7回	日本の政治構造と選挙
第8回	税金と家計簿
第9回	女性と子育て
第10回	日本の観光
第11回	おもてなし文化
第12回	浮世絵
第13回	日本の食文化
第14回	日本酒と飲酒文化
第15回	まとめ

【評価基準】 授業出席8割以上を評価対象とします。授業出席8割未満はE(出席不足)です。

評価割合は、出席とレポートで評価する。出席は40%、レポートは60%。

レポートは授業内容に関する感想文レベルでよい。

S(100～90点)A(89～80点)B(79～70点)C(69～60点)D(59点以下は不合格)

【教材】特になし。プリントなど授業中随時配布。

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計3回すると1回分の欠席になります。30分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・ レポートや課題については第1回授業ガイダンスで詳しく説明します。

映画から見る日本文化

必修(2単位) 水2限 教員氏名:森 功次

開講年度・学期 2023年度後期

【授業種別】講義

【授業概要・ねらい】

この授業ではいくつかの日本映画を観賞しながら、日本映画の歴史を学ぶとともに、そこで描かれている日本の文化、社会事情を学びます。履修者には、自国の生活文化と比較しつつ、2つの国の特徴を考察してもらいます。また、映画で用いられている多様な技法を学ぶことで、映画の鑑賞法を学ぶこともこの授業の目標です。現時点では小津安二郎、黒澤明、是枝裕和、青山真治、宮崎駿、高畑勲といった監督の作品を観ていこうかと考えていますが、どの映画を見るかは履修者の希望、語学レベルや歴史知識を考慮しつつ決定します。

【到達目標】 日本映画についての基本的な知識を身につけること。日本の文化と自国の文化を照らし合せ、その違いを自分のことばで説明できるようになること。映画作品に込められているさまざまなメッセージを読み取れるようになること。

【授業内容】

第1回	ガイダンス、課題の説明、成績評価について
第2回	家族の描写: 鑑賞前の背景説明
第3回	映画を見る、ディスカッション
第4回	時代劇: 鑑賞前の背景説明
第5回	映画を見る、ディスカッション
第6回	高度経済成長期: 鑑賞前の背景説明
第7回	映画を見る、ディスカッション
第8回	バブル経済期: 鑑賞前の背景説明
第9回	映画を見る、ディスカッション
第10回	現代の社会問題: 鑑賞前の背景説明
第11回	映画を見る、ディスカッション
第12回	日本のアニメ映画: 鑑賞前の背景説明
第13回	映画を見る、ディスカッション
第14回	古典文学の映画化: 鑑賞前の背景説明
第15回	映画を見る、ディスカッション

【評価基準】 授業出席8割以上を評価対象とします。授業出席8割未満はE(出席不足)です。評価割合は、授業中の発言・質問を50% 最終レポートを50%とします。
S(100~90点)A(89~80点)B(79~70点)C(69~60点)D(59点以下は不合格)

【教材】プリントを配布

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計3回すると1回分の欠席になります。30分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・ レポート、課題については第1回授業ガイダンスで詳しく説明します。

日本語と日本の文化

必修(2単位) 水3限 教員氏名:森 功次

開講年度・学期 2023年度後期

【授業種別】 講義

【授業概要・ねらい】

この授業では、日本語の特徴的な語彙、使用法を見ていながら、そこに表れ出ている「日本的」な考え方について学びます。日本語では、ほんの少しの言葉づかいが変わるだけで、ニュアンスが大きく変わります。その意味の変化について考えながら、その裏側にある思想・世界観を学んでいきます。

【到達目標】 まぎらわしい日本語表現を使い分けられるようになること。表現に含まれるさまざまなニュアンスを読み取れるようになること。言葉と文化とのつながりを考える姿勢を身につけること。

【授業内容】

第1回	ガイダンス、課題の説明、成績評価について
第2回	自分や家族の呼び方、役割語
第3回	気分の表現
第4回	依頼と謝罪のしかた、お祝いの表現
第5回	季節にまつわる表現
第6回	宗教に由来する表現
第7回	食べ物にまつわる言葉
第8回	食べ物にまつわる言葉2
第9回	履修者によるプレゼンテーション1
第10回	人や物をほめる
第11回	はやり言葉と死語
第12回	年末年始の言葉
第13回	贈り物とお返し、挨拶
第14回	仕事で使う言葉、メールでの表現
第15回	履修者によるプレゼンテーション2

【評価基準】 授業出席8割以上を評価対象とします。授業出席8割未満はE(出席不足)です。

評価割合は、授業中の発言・質問50%、プレゼンテーション50%とします。

S(100~90点)A(89~80点)B(79~70点)C(69~60点)D(59点以下は不合格)

【教材】 特になし

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計3回すると1回分の欠席になります。30分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・ 履修者には学期中にプレゼンテーションを2回行ってもらいます。課題については第1回の授業ガイダンスの中で詳しく説明します。

日本の文学(近・現代)

選択(2単位) 木3時限 教員氏名:森 功次

開講年度・学期 2023年度後期

【授業種別】講義

【授業概要・ねらい】

現代日本の代表的な作家である村上春樹の作品をじっくり読みながら、日本語表現、日本の文化や社会問題、そして文学的な技法について学んでいきます。授業では、ただ作品を読むだけでなく、村上春樹の作品を読む上で念頭に置いておくべき時代状況、作家のスタイルの変化などについても解説していきます。どの作品をどれくらいのスピードで読んでいくかは、履修者の希望、語学レベルを考慮しながら決定します。

【到達目標】 日本文学の基本的な知識を身につけること。文学作品について、日本語で感想を語り合えるようになること。日本語で文学を読む楽しさを知ること。

【授業内容】

第1回	ガイダンス、課題の説明、成績評価について
第2回	村上春樹の短編小説を読む
第3回	村上春樹の短編小説を読む
第4回	村上春樹はどう読まれてきたか
第5回	村上春樹を読む
第6回	村上春樹を読む
第7回	村上春樹を読む
第8回	村上春樹のインタビューを読む
第9回	村上春樹のインタビューを読む
第10回	村上春樹を読む
第11回	村上春樹を読む
第12回	村上春樹を読む
第13回	村上春樹と音楽・料理
第14回	村上春樹と日本社会
第15回	村上春樹と翻訳

【評価基準】 授業出席8割以上を評価対象とします。授業出席8割未満はE(出席不足)です。

評価割合は、授業中の発言・質問50%、最終レポートを50%とします。

S(100~90点)A(89~80点)B(79~70点)C(69~60点)D(59点以下は不合格)

【教材】 ひとまずはなし。選ぶ作品が決まったら、本を購入してもらいます。

【その他】

- ・ 質問等は授業後もしくはメールにて受け付けます。
- ・ 遅刻と早退を計3回すると1回分の欠席になります。30分以上の遅刻と早退は欠席とします。
- ・ レポートや課題については第1回授業ガイダンスで詳しく説明します。